

中国地方に追いついた

東北地方の農業崩壊速度

筆者は1995年1月に青森県と島根県の山間地域農村において農業崩壊の実態と農業の再編過程について調査をおこなったことがある。その結果は拙稿(注)にまとめたとおりで、そこでの結論は、「中国地方の中山間地で深刻な農業崩壊を引き起こしてきたメカニズムは、既に東北地方の中山間地を射程にとらえた。そして、それは(農産物価格の)今後の状況によっては、平野部の農業をも貫徹するものなのである。」(19頁)というものであった。

まだ当時は、農業基盤が相対的に強固な東北地方など東日本と、早くから農業崩壊が始まった中国地方など西日本との間には文化的・家族規範的な違いがあり、東北地方の農

業は中国地方のように急速に崩壊しないだろうという一種の楽観論が強くあった。8年前に行われた上述の筆者の調査結果は、そうした楽観論を否定するものだったのである。

ここに挙げた表は、1990年から2000年間の青森県と島根県の総農家数と経営耕地面積の変化を農業地域類型別に見たものである。そこからわかるのは、過去10年間の総農家数の減少率が、全地域において青森県が島根県を上回っていることである。特に山間地域での減少率は10年で30%にも達している。そして農業崩壊の指標となる経営耕地面積の減少率も、山間地域は既に青森県が島根県を上回っている。

農業基盤が相対的に強固であると考えられてきた東北地方でも、山間地域から急速に農業・農村社会の崩壊が進んでいるのである。

(須田敏彦)

(注)須田敏彦「中山間地域農業の崩壊と再編の論理—青森県と島根県の事例から—」『農林金融』1995年4月。

青森県と島根県における総農家数と経営耕地面積の変化(1990年=100)

(1) 青森県

	総農家数			経営耕地面積		
	1990	1995	2000	1990	1995	2000
山間地域	100.0	80.6	69.9	100.0	91.0	81.5
中間地域	100.0	88.8	78.8	100.0	94.1	89.3
都市的地域	100.0	89.2	77.3	100.0	93.1	87.0
平地地域	100.0	91.2	83.6	100.0	97.0	94.3
県合計	100.0	89.3	79.8	100.0	95.2	91.1

(2) 島根県

	総農家数			経営耕地面積		
	1990	1995	2000	1990	1995	2000
山間地域	100.0	92.2	84.0	100.0	93.2	82.4
中間地域	100.0	90.6	80.1	100.0	90.8	78.1
都市的地域	100.0	91.2	84.9	100.0	91.9	83.4
平地地域	100.0	93.8	87.3	100.0	96.5	87.5
県合計	100.0	91.6	82.9	100.0	92.7	81.8

資料： 農業センサス

注： 各農業地域類型のデータは市町村を単位とした1995年の分類の合計値。